

学校教育目標

自分を生かし 進んでみんなで よりよいものを創り出そう

本年度の重点目標

- 1 基礎・基本を定着させ、確かな学力を身につけさせる。
- 2 豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒を育成する。
- 3 自主性・社会性を育成し、生徒主体の学校づくりを推進する。
- 4 家庭や地域との連携を推進する。

総合的な自己評価

- ねらいを明確にし、個に応じた指導を心がけ、確かな学力を身につけさせるため、基礎・基本の定着に努めることができた。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を今後も行っていく。
- 道徳授業を中心に心豊かに、何事にも粘り強く努力できる生徒の育成に注力することができた。今後も生徒理解に努め、教職員の協働体制の強化を図り、着実な指導を継続していく。
- 生徒会活動や学校行事において、生徒が主体的に取り組み活動できるよう指導・支援に努めることができた。生徒の一人ひとりの思いを把握し、生徒が関わり、つながる学校づくりをさらに推進していく。

学校評価の方法についての学校関係者評価

重点目標が明確化され、評価として適切だと思います。学校の状況が客観的に分析されているため、評価が行いやすい状況だと思います。

総合的な学校関係者評価

- ・泉中の生徒は、地域の多くの方に、希望と生きる力を与え続けてくれています。教育活動全ての中で、先生方が常に全力集中で指導に当たられている成果の表れだと思います。同時に、保護者の方々との連携が図られている証だと思います。
- ・子ども達の「主体的・対話的な学び」を参観日や行事で見ると成長を感じました。また、生徒会を中心に考えた今の時代に合った校則は、「主体的な活動・意欲」につながっていると感じました。
- ・体育大会など、3年生を中心として自分たちらしく生き生きとした表情が印象的でした。
- ・今後も確かな学力の定着、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善、考える道徳授業、NIEの取組、生徒会活動等を通して、自分で考え、仲間と協働し、主体的に行動していく生徒の育成に努めていただきたい。

学校自己評価結果

A・・・優れている B・・・良好 C・・・おおむね良好 D・・・要改善

評価項目ごとの学校関係者評価

分野	評価項目	評価	学校の取組状況・改善の方策	自己評価結果及び改善方策の評価
教科指導	○ 基礎的・基本的な知識・技能の定着に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいを明確にし、ICT機器を活用することで、生徒が具体的に学習の取組を理解し、効率的に学習を進めることができた。</li> <li>・授業開始時に小テストや前時の復習を実施するなど基礎・基本の定着を図ることができた。</li> <li>・発問の工夫やグループでの学習を積極的に取り入れ、主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善に努めていく。</li> <li>・個別最適な学びのため、個に応じた課題の設定や学び合いや教え合い活動などを効果的に活用できるよう授業デザインの工夫を重ねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の授業の積み重ねが成果となり、確実に学力向上に繋がっていると思います。</li> <li>・ICTのさらなる活用、自ら学んでいく授業デザインなど、授業改善を進めていただきたい。</li> </ul>
	○ 思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。			
	○ 毎時の授業のねらいを明確にするとともに、発問や板書等に工夫・改善を行っている。			
	○ 個別指導やグループ別指導等、効果的な指導形態の工夫・改善を行っている。			
	○ 各教科の特性をふまえ、体験的な学習や問題解決的な学習を取り入れている。			
道徳教育	○ 年間指導計画に基づき教材を充実させるとともに、対話的な活動を多く設定し、生徒の手によるモラルの構築に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳授業の研修を重ね、主題に迫る発問の工夫や意見を受容したり、考えを深めるため問い返したりし、道徳的価値観を対話により深めることに努めることができた。</li> <li>・今後も教育活動全般を通じて、すべての教職員が関わり、心を育てる指導の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の生徒の様子を見れば分かります。如何に先生方が思いを込め、日頃の対話の中から信頼関係を構築し、心の底から生徒を大切に育てられていると思います。</li> <li>・授業参観時には、一人ひとりの意見を認め、生徒と対話して授業を進める様子を見せていただきました。多様な生徒の対応は大変な部分もあると思いますが、人間形成には大変重要な部分だと思いますので、今後も充実していただきたいと思いました。</li> </ul>
	○ 教育活動全体を通して、人間的なふれあいを深め、思いやりのある生徒の育成に努めている。			
人権教育	○ 年間指導計画に基づいた指導を行うとともに、生徒の身近な問題から互いに尊重し合う人権感覚の育成に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科や学級活動、日々の生活の中で起こる身近な問題を通して、人権について考え、互いを尊重し合う人権感覚を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会等の行事の中で、生徒が互いに尊重し合っている姿を目の当たりにし、人権感覚の育成に努めていると感じました。</li> </ul>
特別支援教育	○ 支援が必要な生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、きめ細かく適切な支援を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員全体で情報共有し、連携を密にすることで、生徒一人ひとりに応じた支援ができるように努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な生徒の数は増加傾向にあると思いますが、一人一人を大切にされる教育は、ここでも生かされていると思います。</li> </ul>
特別活動	○ 生徒の創造的・自主的活動を支援し、生徒主体の学校づくりに努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的なめあてを設定し、生徒が自主的に活動できるよう、計画を立て指導・助言に努めている。</li> <li>・生徒が課題を見つけ、主体的に活動できるよう、さらに指導・支援の方法について検討していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に活動するためには、先生方の陰ながらのバックアップが重要です。目立たず、そっと、そしてさり気なく、まさしく実践されていると確信しています。</li> <li>・学級や生徒会活動を通して、自分たちで考えて行動できる生徒を育成していただきたい。</li> </ul>
	○ 学級・学年目標を達成するため、具体的なめあてを持って行事活動等に取り組めるよう指導に努めている。			
生徒指導	○ 情報を共有しながら、問題行動等への迅速な対応に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告・連絡・相談を行い、事の大小に関わらず職員全員の共通理解のもと、より迅速に対応をし、適切な指導方法について検討することに努めた。</li> <li>・清掃活動を通して美化意識や、社会貢献意識の向上を図る。</li> <li>・生徒は思いがあっても行動できなかったり、指示待ちになってしまったりすることがある。教職員が信頼関係を築くことを大切に生徒理解に努め、粘り強い指導を継続していく。</li> <li>・教職員及び保護者とSC、SSWとの連携がうまく機能し、生徒への適切な支援が行われている。しかし、不登校等悩みや様々な課題のある生徒の支援のため、保護者や関係機関とより密に連携し、相談体制の強化に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方は生徒理解に努め、その中でしっかりと生徒指導をしていただいていると感じた。</li> <li>・生徒指導こそ、学校が一体となって押し進めていくことが大切だと思います。常にタイムリーに生徒と向き合い、適切な対応をされているこの現実が、今の生徒のより良い実態として表れていると思います。</li> <li>・少人数で小学校時代を過ごす生徒が多い中、中学校からの生徒指導は難しい面があると思いますが、小中連携して指導を強化していったほしいと願っています。</li> <li>・多機関連携で相談体制の強化を図っていただきたい。</li> </ul>
	○ 規範意識、美化意識、モラルの向上を図り、清掃活動の充実に努めている。			
	○ 生徒の実態をふまえ、自ら考え、判断し、行動する態度の育成に努めている。			
	○ 生徒理解に努め、生徒や保護者が安心して相談できるようにしている。			
	○ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校生徒や支援を要する家庭に適切な働きかけができています。			
	○ 校区小学校を含む関係諸機関との連携・協力を計画的・継続的に行っている。			
進路指導	○ 生徒の個性等、実態をよく把握し、計画的な進路指導を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見通し、学年の成長段階に応じて計画的な進路指導を行い、主体的に進路選択ができるようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の個性の分だけ、進路が多様化している時代の中、個に応じた進路指導がなされていると思います。</li> </ul>
部活指導	○ 部活動の意義を理解し、感動や喜び、達成感や満足感を体験させる指導を工夫している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数の減少等による課題から従来通りの活動は難しくなっているが、中でも、健全な心身の育成のため、達成感や満足感を体験できる活動の工夫を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は、体力や技術だけでなく、礼儀などを身につけ、心身ともに成長していると感じました。</li> <li>・部活動でしか体得できないこともあるはずですが、先生方のワークライフバランスを図る中で、生徒の健全育成に努めていただきたい。</li> <li>・やりがいをもって取り組める部活動にしていきたい。</li> </ul>

分野	評価項目	評価	学校の取組状況・改善の方策	自己評価結果及び改善方策の評価
安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 火災、地震、社会を脅かすような事態等に対する意識を高め、迅速かつ適切な対応ができるよう、安全教育に努めている。</li> <li>○ 事故防止のため、生徒の健康や安全に留意した指導を継続的にしている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種訓練や学級活動を通して、自分事として考え、防災意識の向上と命を守る方法を学ぶ機会をつくり、安全教育に努めることができた。</li> <li>・ 登下校や授業、部活動等において、事故防止のため、安全に留意した指導を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 想定外の時間に訓練をされたことと、より実効性があり有益なことだと思います。先生方の発想力が素晴らしいです。</li> </ul>
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年・学級通信・その他の配布物、オープンスクール等により、教育活動の様子を家庭・地域に伝え、保護者及び地域住民の理解と協力を得るよう努めている。</li> <li>○ 地域活力を生かした教育活動（育成会、体育大会、音楽祭等）において、地域との連携強化に努めている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種行事や参観日等、多くの保護者や地域の方に参加いただき、教育活動の様子を知り、理解と協力を得る機会とすることができた。</li> <li>・ 今後もPTAや地域と学校が連携した教育活動ができるよう様々な形で情報を発信し、理解と協力を得られるよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PTAで提案したことを取り入れるなど連携した取組ができ良かった。</li> <li>・ 地域との連携強化をつくづく実感した。生徒の姿・行動は、我々に勇気と元気を与えてくれます。先生方の後押しがあればこそです。</li> <li>・ 北部公民館まつりのボランティア等はこれからも継続していただきたい。</li> </ul>
施設管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設・設備を日常的に点検し状況を把握するとともに、安全対策に努めている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常的に点検に努め、改善が必要な場合は適宜報告を受け対応している。今後も継続していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒は安全に生活できていると思う。</li> <li>・ 校長先生自らが率先し、環境整備に取り組まれていることが素晴らしい。</li> </ul>
資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内外の研修に積極的に取り組み、資質、実践的指導力の向上に努めている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内の道徳や生徒理解のための研修、校外での研修に積極的に取り組み、教師力の向上に努めている。資質向上は最大の課題であり、重要な取組項目であることから今後も継続していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的・計画的に研修を実施し、自己研鑽に努められていると思います。思いを行動に移されていることが泉中の魅力の一つだと思います。</li> <li>・ 今後もしっかりと研修に取り組んでほしい。</li> </ul>